

ファスト風土論

カルチャースタディーズ研究所
三浦展

ファスト風土化とは

風土の大量生産品化

= 画一化

= ファストフード化

= マクドナルド化(リッツァ)



ファスト風土の風景 ここはどこでしょう？

ファスト風土のどこが問題か

1) 環境・エネルギー問題

2) 4重の破壊

自然破壊 = 農村コミュニティの崩壊

歴史ある市街地の破壊 = 都市コミュニティの崩壊

旧郊外の崩壊

新郊外もいずれはゴーストタウン

ファスト風土のどこが問題か

- 3) 大量消費社会化によって生活基盤が脆弱になる(自立的、自足的、持続的でなくなる) Cf.中越

健康格差(肥満)

生活能力の低下

生活意欲や労働意欲の低下 = 下流化

- 4) 雇用の不安定化(老舗企業での正社員
全国チェーンの非正規雇用者。所得伸びない。結婚できない)

ファスト風土のどこが問題か

5) 生活空間の閉鎖化

= 一人遊びが増加。コミュニケーション力など
子供の社会化、精神的発達の阻害

6) 郷土への愛という根拠を持たぬメ ディア化されたナショナリズムやポ ピュリズム(小泉人気)

新しい挑戦

ニューアーバニズムの原理

1. 都市の郊外への拡大を抑制、鉄道主体の街
2. 私的な空間(住宅)と公共的な空間(商店街、公園など)を近づける
3. 歩きやすい街 歩いて楽しい街
4. 多様な住宅(多様な階層)の混在
5. 歴史的まちなみ



Village Homes

街の存在理由

- 街には、子どもを育てて、一人前の大人にする（社会化）という機能があったのではないか。
- われわれはファスト風土とは別の街（スロー風土）に住む権利があり、子供を育てる権利がある。
- 大型店があってもいいが、それが古い街を破壊するのはおかしい。

「街育」の提案

1. 子どもがよく育つ街～意欲、自立心、公共心
2. 住民同士の自然なコミュニケーションがある＝コミュニティがある
3. 職住一致・近接し、働く場所・ものを作る場所が見える
4. 異なる世代、職業が混在し、お互いに関係しあっている